

そよかせ

通信



発行者

北本市議会議員 **金森すみ子**



〈 2025 年 10 月 No.26 〉

連絡先

北本市東間 8-230-172

電話・Fax 048-542-8794

e-mail yts1171124914@gmail.com

やっと過ごしやすい季節になりました。近年は、様々な催しが暑さを避けて、この時期に一気に開催されています…国の情勢を含め慌ただしい秋です。市議会でも、“行政視察”で他自治体に出向き市の課題解決について学んだり、“議会改革特別委員会”では、議会への市民の関心を高めたいと活発な議論を繰り広げています。私も副議長となり、多くの市民の方々とお会いし話を聴く機会が増え、自身の考えの構築に役立っています。

令和7年第3回北本市議会臨時会が開催されました(8/26～9/26)

- ・ 市長からの提出議案 → 決算7件、条例改正7件、補正予算5件、人事案3件、など合計25件
- ・ 議員からの提出議案 → 意見書2件

令和7年度一般会計予算は総額293億4,410万円に(8億7,309万円を追加)

令和6年度決算の確定により、次年度へ事業を繰り越したり、不用額(使う必要がなくなった金額)を基金に積み立てる、などが主な内容です。新たな取り組みとしては…



◇ デマンドバスを1台増車して利便性の実証実験をします(令和8年4月～1年間)(1,600万円)

デマンドバスについては、利用者から「予約が取りづらい」「帰りの足として利用しづらい」といった声が以前より寄せられています。利便性の向上が求められていました。

この度、市はこの課題に対応するため、**試験的に利用の多い平日に普通車1台を増やす**

実証実験を行います。結果を検証し、高齢者などの交通弱者の移動手段を確保していくとのことです。

(平 日)	ワゴン車2台	普通車2台	+1台	計5台
(土曜日)	ワゴン車1台	普通車2台		計3台
(日曜・祝日)	ワゴン車1台			計1台

令和6年度決算を認定

慎重な審議の結果、賛成多数で認定されました

《 北本市の財政の健全性は？ 》 基準値を下回っており、堅実な運営と判断できます。

	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
実質公債費比率 (基準値 25.0%) 市の平均的年間収入に対する借金返済額の割合	7.8%	7.9%	7.9%	7.3%	7.4%
将来負担比率 (基準値 350.0%) 市の平均的年間収入に対する将来支払う負担額の割合	算定されず	算定されず	算定されず	4.8%	18.9%

新たな市債(借金)は、14億2,900万円(前年度比+44%)で、
栄市民活動交流センター整備、体育センター改修、道路整備、などのためです。

国からの地方交付税(市財源の補てん分)は、35億6,659万円(前年度比+6.6%)、
ふるさと納税による収入から基金への積み立ても、7億1,434万円できています。

借金を上回る貯金があるとして、将来負担比率は算定されませんでした。



詳細は次のページ

≪ 令和6年度の決算の概要 ≫

		歳 入 (前年度比)	歳 出 (前年度比)
一 般 会 計 (市民行政サービスに関するもの)		277億 1,620万円 (+5.0%)	263億 4,870万円 (+4.0%)
▶ 市税による収入は、89 億 4, 207万円 (前年度比-0.9%) 市税は歳入の根幹をなすもので、歳入全体の32%を占めます。中でも多いのは下記の2つです ・ 個人市民税 36億 7,879 万円 (1人あたり1万円減税の実施で約3億円の減収となり、前年度比-3.8% 減収分は国から補填済み、市民税の対象となる住民所得は増加の傾向) ・ 固定資産税 38億 1,750 万円 (前年度比+0.5%) ▶ ふるさと納税による収入は、13 億 5,768 万円、埼玉県内 2 位 ①-②をふるさと応援基金に積み立て、市の事業に活用していきます			
	令和 6 年度 (前年度比)	令和 5 年度 (前年度比)	令和 4 年度 (前年度比)
① 北本市へのふるさと納税の金額・寄付者延べ人数	13 億 5,768 万円(+14%) 9,917人 (+33%)	11 億9,589万円 (+8%) 7,442人 (+23%)	11 億1,018万円 (+22%) 6,048人 (+23%)
②ふるさと納税に係る経費 (返礼品、宣伝、返礼品拡充など)	6 億 998 万円 (+15%)	5億3,163万円 (+12%)	4億7,408万円 (+28%)
③北本市住民が他自治体へ ふるさと納税した場合の 市税減少額 (個人住民税控除)	2 億 394 万円 (+16%)	1億7,546万円 (+15%)	1 億5,275万円 (+26%)
④ 市の実際の収益 (①-②-③)	5 億 4,376 万円 (+11%)	4億8,879万円 (+ 1%)	4 億8,335万円 (+16%)
黒字額では、埼玉県内でトップです			
後期高齢者医療特別会計 (主に75歳以上の医療費に関するもの)		12 億 3,545 万円 (+12.4%)	11 億 9,995 万円 (+12.1%)
		被保険者数は 12,300 人(前年度比+523 人)、 1人当たりの補助費(医療費等)は 97,337 円(前年度比+6,683円)	
久保特定土地区画整理事業特別会計 (北本市南部の久保地区の 区画整理に関するもの)		6 億9,658万円 (+27.1%)	6 億6,874万円 (+27.3%)
		南部地域整備基金(※)も活用し、建物等の移転補償、街路築造工事を進めた 進捗率は、建物移転ベース71%、区画街路整備ベース 44%	
国民健康保険特別会計 (国民健康保険に加入者の 医療費などに関するもの)		64 億 7,453 万円 (-0.1%)	62 億 7,216 万円 (-1.7%)
		被保険者数は 12,470人 (前年度比-649人)、 1人当たりの補助費(保険給付費等)は 48万9,957円 (前年度比+16,843円)	
介護保険特別会計 (65歳以上の介護保険サービス利用・ 介護予防などに関するもの)		60 億 2,444 万円 (+5.8%)	57 億 1,037 万円 (+4.9%)
		被保険者数は 21,447人(前年度比+96人)、 1人当たりの補助費(保険給付費等)は 25万9,113円(前年度比+16,005円)	
埼玉県央広域公平委員会特別会計 (市職員の勤務や人事管理への相談助言等の措置に関するもの)		51 万円	28 万円
		R6年6月に使用料の値上げがありましたが、 県汚水処理場への負担金も値上げとなり、 当年度純利益は前年度より減少しています	
公共下水道事業会計 (市内下水道の維持管理、 使用料に関するもの)		収入	支出
収益的収支 (使用料を元にした運用維持管理)		11億 4,142万円	10億 3,805万円
資本的収支 (下水道の建設・改築)		2億 960万円	5億 5,981万円
管路の亀裂などをテレビカメラで点検調査し修繕など老朽化対策を実施、赤字は損益勘定留保資金等で補填			

▶ 歳出の主なものを見てみると… 予算どおり執行できたの？

	支出額 (前年度比)	構成比率	予算執行率
民生費 (高齢者・障がい者・児童・子育てへの福祉、生活保護費用など)	117億 966万円 (+5.0%)	44.4%	93.9%
< 障がい者(児)福祉サービス利用の増加、生活困窮者の自立に向けた支援の増加、中丸第2学童保育室新設、定額減税補足給付金、介護保険特別会計等への繰出し金など >			
総務費 (情報システム・税金徴収などへの経費、基金積立、人件費、委託料など)	43億 5,121万円 (-3.6%)	16.5%	92.8%
< 前年度は市土地開発公社の解散残金の基金積み立てが有り大きく伸びていました、人件費は増加しています >			
教育費 (小・中学校、生涯教育などに関するもの)	31億 7,372万円 (+43.8%)	12.1%	88.4%
< 栄市民活動交流センター整備・体育センター改修など公共施設の経費が増加、小・中学校体育館へのエアコン設置(約10億円)を翌年度に繰り越した為に執行率は良くありません >			
公債費 (借金の返済)	19億 8,439万円 (-6.0%)	7.5%	98.8%
< R6年度末の市債の残高は168億 6,242万円 >			
土木費 (道路・橋・河川の維持、公園整備など)	19億 8,119万円 (+5.3%)	7.5%	97.0%
< 総合公園野球場スコアボードの改修、石戸路切道拡幅工事の負担金 >			
衛生費 (し尿・ごみ処理、健診委託など)	17億 7,037万円 (-6.4%)	6.7%	94.0%
< 前年度で新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種が終了し経費減少、ごみ収集処理等の経費は増加しています >			
消防費 (消防署関係の負担金)	9億 4,682万円 (+1.9%)	3.6%	98.5%
< 救急車の出動などが増加しています >			

▶ 令和6年度には「ふるさと応援基金」より4億 8,986万円を次の事業に充当し活用しました (令和6年度末残高は14億 5,510万円)

子どもの成長支援 子ども医療費1億5,900万円、中丸第2学童保育室整備1,720万円、公立保育所等登園システム導入235万円、保育所等無線ネットワーク整備528万円、民間保育施設等補助5,277万円、保育士就職奨励金280万円、保育所等遊具改修210万円、小中学校防犯カメラ更新310万円、小学校デジタル指導書更新2,399万円、給付型奨学金183万円、その他子育て支援2,187万円
健康な暮らし 予防接種6千万円、毎日一万歩運動独自アプリ導入85万円、体育センター設備更新等1,403万円、
安心安全なまち 新ごみ処理施設整備基金積立5,000万円、公園維持管理480万円、
活力あるまち 商工会・観光協会補助1,600万円、文化財関連487万円、その他産業観光振興339万円、
みんなで参加するまち コミュニティ振興702万円 **健康で開かれたまち** 広報紙発行1,909万円
定住移住の促進 森林セラピー事業280万円、シティプロモーション推進971万円、
 農業ふれあいセンターでの情報発信事業400万円、など

指定管理者が運用している公共施設の決算状況は？

北本市では多くの公共施設について、民間事業者も含めた幅広い団体を管理者に定めて、運営を委ねています(指定管理者)。決算審査では、この「指定管理者」の決算状況も対象ですが、中には、赤字となっている事業者もあり、市民サービスに影響がないのか心配されます。けれど、市の職員には危機感があり、責任まで手放した感があります。市に対し、指定管理者の運営状況を注視するよう求めています。

(※) 南部地域整備基金とは？…市の南部地域の都市基盤の整備、災害により生じた経費の財源に充当する貯金です

金森すみ子の一般質問

(行政課題や政策提言など市政運営について質問し報告や説明を求めるもの)

1.子どもの健やかな育ちについて 新型コロナウイルス感染症が猛威を振るってから5年が経過しました。それまでの常識が一変し、新たな常識が定着していきました。子どもも大人も直接会話を交わす機会が減るなどコミュニケーション停滞の影響を心配しています。



問 小中学校ではタブレット学習が急いで進められ、効果は認められるものの、子どものスマホ等ネット利用は益々増えています。「勉強に集中できない、睡眠不足である」との児童生徒が過去最高だったと国の報告もあり、スマホ利用の制限を条例に定める自治体も現れました。子どもも大人もネットとの付き合い方を学び見直す機会が必要です。また、小学校内でクラスメイトなどに手を出してしまうという暴力件数は10年前の6倍となり、専門家は、子ども同士の遊びが減り衝動の収め方が未熟であるとのこと。子どもの心の声を丁寧に聴く必要があります。

答 市の見解は、児童生徒自身のインターネット利用をコントロールする自律的な姿勢の育成には、学校だけでなく、家庭の協力は欠かせないと考え、適切にインターネットと関われるように、各校で保護者へ働きかけるとともに、引き続き研究していきます。また、働き方改革を推進し、児童生徒の声を聴く機会を増やすなど環境を整えていきます、とのこと。

2.職員の育成で定着促進を

問 行政分野は人材不足であると言われています。北本市の職員は400人程ですが、自己都合退職は年に10人程度見られます。働きやすさは、勤務環境の整備だけではない、職員の成長機会の不足なども心配しており、職員の育成について質問しました。また、カスタマーハラスメント(職員が住民などから理不尽な要求を突きつけられること)の発生防止には、接遇(相手を理解し思いやりを持って対応すること)の習得も必要であると提案しました。

答 市では、採用の際に、職場見学会など仕事との相性確認の場を設けています。また、今年度からは、育成担当職員による指導と精神面支援の仕組みをつくるなど、働きがいのある職場づくりに努めるとのこと。

3.「ゼロカーボンシティ宣言都市」として、市の取り組みの今後は

ゼロカーボン(二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を、森林による吸収量を差し引いて、実質ゼロにすること)への取り組みの進みが思わしくありません。市民一人一人にもできる取り組みの紹介や周知も有効です。宣言都市として、今後の対応の推進を求めました。



4.文化センターの大規模改修では、図書館を居心地良いものに

文化センターは開館から40年が経過しています。R10～11年度に休館し、老朽化した設備や危険箇所を改修する予定です。市は、新たな社会ニーズ等に対応した施設機能の向上を図ります。

プラネタリウムの改修では、固定席を撤去し、プラネタリウム以外の多目的利用も可能にします。

中央図書館の改修については、滞在しやすいものにと求めました。市の回答は、「本の森」の考えの元、リラックスできる快適な環境や、わくわくするような知性との遊びの場を目指すとのこと。

5. SDGsの推進に向け、市民に身近な取り組みの強化を

SDGs(持続可能なより良い未来を築くための17の目標)について、北本市の推進が感じられない、と市民の声があります。市は、職員研修や市民対象の講座・イベントを実施、民間業者等と連携し「浄水型ウォーターサーバー」を3施設に設置し、マイボトル活用の推進をしている、とのこと。



市民の行動につながる周知啓発の工夫を求めました。

- ◇ インボイス制度に関する経過措置の延長を求める意見書

可決 (賛成13、反対5、退席1…私は賛成)

- ◇ 生活保護基準引下げ処分取消等請求訴訟の最高裁判決に基づき

速やかな被害回復措置等を求める意見書

可決 (全会一致)